

埋設管改善・交換等成功事例

<腐食測定を行った事例>

事例 1 「町営集合住宅」

- (1) 訪問回数 4回
- (2) 説明資料 KHKマニュアル、保安センターの埋設管腐食測定結果
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 白ガス管で既に20年以上経過している物件であり、従来から交換を提案していたが具体的説得材料に乏しく実現に至っていなかった。
 - ② 集合住宅であり、埋設管の老朽化により事故が発生した場合の災害の規模を考えた場合、早期の対策が絶対に必要であると説明した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 第三者機関である保安センターが測定した「腐食測定データ」を具体的に提示し、埋設管の健全度を数値で示したことが説得につながった。

事例 2 「保育園」

- (1) 訪問回数 1回
- (2) 説明資料 埋設管腐食測定結果
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 保育園の協力を得て、販売店従業員に腐食測定器使用方法の説明のため腐食測定を実施したところ、0.93Ωを示した。
 - ② 漏えい検査を実施、1ヶ所漏えいが確認された。
 - ③ 管理責任者にこの結果を報告、PE管への全面交換を提案した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 漏えい個所の発見で、重大事故につながるおそれを説明し、早急な改善を要請した。
 - ② とくに保育園としての安全管理の必要性について力点を置いた。

事例 3 「学校」

- (1) 訪問回数 3回
- (2) 説明資料 自作ツール、県・協会パンフ、KHKツール
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 通常から点検調査を頻繁に実施し、信頼感を得ていた。
保安専門技術者を同行し、腐食測定器で腐食測定を実施。この際に、学校の埋設管ガス漏えい事故事例を説明（新聞記事、県通知文書、KHK資料）し、予算取りに必要な資料を提出。役場の教育委員会に行き、説明し見積書を提出した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 平素から信頼関係を構築しており、客観的データ、資料を現場（学校）、管理者（教育委員会）に提出、理解を得た。

事例 4 「集合住宅」

- (1) 訪問回数 10回
- (2) 説明資料 KHK資料など
- (3) 説明相手 事業主、管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 配送時に上流側漏えい検知装置の漏れ表示確認、漏えい検査で漏れを確認した。
 - ② 埋設部250mをボーリング検査し、漏れ箇所を特定、2ヶ所を補修した。
 - ③ 漏えい検査で補修状況を確認したところ、完全補修できず、仮設工事を行った。
 - ④ 腐食測定器による腐食測定を実施し、その結果に基づき事業主に改善見積書を提出した。
 - ⑤ 平成13年6月に契約締結、翌月23日に工事を実施した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 漏れに対し迅速な対応をした。
 - ② 腐食測定器による腐食測定結果を説明し、改善に理解を求め、改善見積書を提出した。

事例 5 「中華料理店」

- (1) 訪問回数 3回
- (2) 説明資料 自作資料（測定値報告書）、県・協会資料（グリーン本抜粋）、KHK資料（維持管理マニュアル）
- (3) 説明相手 事業主
- (4) 交換までの経緯
 - ① 初回訪問時から各種資料を持参、店主に説明。
 - ② 腐食測定器で測定したところ、10Ω以下のため、漏えい試験を実施したが漏えいは認められなかった。
 - ③ ここで店主に今回の点検・調査に理解を得たいと思い、改善の提案をしたが難色を示し、年末に再度訪問したが進展しなかった。
 - ④ 年明けに再々訪問し承諾を得た。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 埋設管の漏えい事故の怖さを説明し続けた。
 - ② 店主は、事故の怖さは十分理解しながらも、費用面での合意がなかなか得られなかったが、最後はお互いの歩み寄りで、露出管で改善工事を実施した。

事例 6 「給食センター」

- (1) 訪問回数 1回
- (2) 説明資料 KHK資料
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 腐食測定器による埋設管腐食測定を実施したところ、腐食が進行していたため、結果を管理責任者（センター長）に報告、町へ予算計上の申請を約束してくれた。
 - ② 13年1月に見積り依頼があり、4月にすべて露出管に改善した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 腐食測定の結果を、ていねいに判りやすく説明した。
 - ② 販売店が改善要請のフォローを再三実施していた。

<掘り出し調査を行った事例>

事例 7 「集合住宅」

- (1) 訪問回数 5回
- (2) 説明資料 自作パンフ、KHKビデオ、新聞等
- (3) 説明相手 事業主、管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 埋設後20年経過物件を対象にリストアップ
 - ② 新聞記事等を切り抜き、毎年事業主等に漏えいの危険性を説明した。
 - ③ 埋設管の一部掘り出しを関係者立会いのもとに実施し、併せてビデオを見せ説明
 - ④ その結果、交換が決まり、実施時期を決め入居者立会いのもと実施した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 事業主、管理責任者に対し、計画的に埋設管の腐食漏えいの危険性を説明した。
 - ② 埋設管の一部を掘り出し、現場の状況を見せ、かつビデオを映写し、漏えいの危険性を説明した。

事例 8 「ファミリーレストラン」

- (1) 訪問回数 4回
- (2) 説明資料 KHKマニュアル
- (3) 説明相手 事業主
- (4) 交換までの経緯
 - ① 給・排水関連の設備改善工事の話が来た際に、付近に埋設されていたガス管のチェックをした結果、腐食の進行が判明した。
 - ② 事業主に埋設管の老朽化現象と、漏えいした時の災害防止を考え、この際ガス管の交換も一緒に実施すべきとの提案を行った。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 給排水改善工事のタイミングをうまく利用し、埋設管の交換を提案した。
 - ② レストランは休業できないため、連日早朝（午前6時～9時）の現場作業となった。

事例 9 「集合住宅」

- (1) 訪問回数 不明
- (2) 説明資料 特になし
- (3) 説明相手 事業主
- (4) 交換までの経緯
 - ① 現場は白管 40A が埋設され、平成 10 年に漏えい検知装置を設置していたが、花壇の下を通っていて腐食が全体に進んでいた。
平成 12 年 12 月に微少漏れの表示が出たため、再度点検・調査した結果、全体的に腐食が進んでいたため、大家に実態を説明するとともに、一部を掘り出し、腐食部分を見せた。
大家は掘り出し調査の結果を見て交換の必要性を認識した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 埋設管維持管理をしっかり把握し、大家からの信頼も厚い。
 - ② 微少漏れの表示が出た際、即座に調査点検を実施し、埋設管を掘り出し腐食部分を大家にも見せ、交換の理解を得た。

<PE管のサンプルを提示した事例>

事例 10 「集合住宅」

- (1) 訪問回数 5回
- (2) 説明資料 その他
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 築 20 年のマンションで、管理組合理事長からガス管は大丈夫か相談を受けた。
 - ② 早速、埋設の現状と災害防止のため、PE 管への交換を提案したところ、検討したいとの意向で、後日見積書を持参し説明したところ、交換を決めた。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 理事長の相談に、タイミングよく提案し、また PE 管の長所・短所を判りやすく説明、同時に PE 管の実物を見せたので、比較的容易に理解してもらえた。
 - ② また、改善後は「安心できる」ということで、管理組合より大変満足いただいた。

事例 11 「集合住宅」

- (1) 訪問回数 不明
- (2) 説明資料 自作資料
- (3) 説明相手 管理責任者
- (4) 交換までの経緯
 - ① 埋設管施工 25 年経過の集団供給先（64 戸）で、団地内の下水道工事の情報を入手し、役所に対し埋設管老朽化の現状と、その対策について 3 回の打ち合わせを実施し理解を得た。
 - ② 下水道工事の説明会の日程に合わせ、説明会に出席、PE 管サンプルを持参し、交換による安全性を PR した。
- (5) 成功の秘訣等
 - ① 情報を早く入手し、迅速に対応策を検討、役所に対し提案した。
 - ② 埋設管老朽化による改善策を説明し、下水道工事と同時に実施することの経済性、入居者の利便性等について理解を求めた。